

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和5年 9月29日(金) 発行人：校長 森内 秀学

時津小 秋のトピック パート2



猛暑続きで走り回って遊ばせる状況にないことは前回お知らせしたところですが、左をご覧ください。曇り空の9月28日。ようやく全力で遊ばせられる日がやってきました。ほぼ1か月ぶりです。遊べない子どもの目を盗んで草原のように広がった雑草をカいっばい踏みしめながら、子どもたちは嬉しそうに駆け回っていました。また暑すぎて遊べない日がやったら、踏まれて弱った雑草を、ぼちぼち抜こうと思います。

寄ってたかって何してる？

これは何の様子を写した写真だと思いますか？実はこれ、6年生の家庭科でミシンの使い方を練習している様子なのです。少ない台数のミシンにたくさんの子どもが集まり、興味津々の目で布や針の動きを追う姿は、学校ならではの、新しいことに挑戦するときの子どもの目というのは、いつの時代も本当に輝いています。



地域でも子どもを育てる～通学合宿～

地域でも子どもを育てましょう！とよく言います。でも、あいさつしても怪しまれ、子ども会に入る子どもは減るばかり…。もう、地域の教育力どころか、地域活動自体がなくなっていくのではないかと…。そんなことを心配していましたが、校区内の二つの地区では、今日まで、通学合宿が行

われていました。左上が元村二地区、右下が野田地区です。

都合のつく職員とのぞいてみましたら、買い物から夕食づくり、もらい湯や銭湯、就寝から朝食まで、すべて地域の方が企画、運営されているとのことで、びっくりしました。

地域の方と語り、地域に守られていることを実感した子どもたちは、きっと、故郷を大事にする子どもに育ちます！

